



JFRL 情報宅配

* 農林水産省 * (<http://www.maff.go.jp/>)

1. [遺伝子組換えダイズ及びワタの第一種使用等に関する審査結果についての意見・情報の募集(パブリックコメント)について](令和2年6月22日消費・安全局農産安全管理課)

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouan/200622.html>

2. [日々の暮らしにゆとりがあるほど朝食は欠かさない傾向～「若い世代の食事習慣に関する調査結果」～](令和2年6月24日消費・安全局消費者行政・食育課)

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/200624.html>

3. [令和2年7月3日からの大雨を受けた食品表示法に基づく食品表示基準の弾力的運用について](令和2年7月7日消費・安全局消費者行政・食育課)

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansa/200707.html> (農林水産省, 消費者庁及び厚生労働省連名)

4. [植物防疫所病害虫情報 No. 121] (2020年7月15日)

<https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pestinfo/index.html>

5. [海外に植物を輸出する際の法令遵守の徹底について(注意喚起)] (2020年7月15日)

https://www.maff.go.jp/pps/j/business/export/kamotsu/yushutsutyuikanki_osirase.pdf

* 厚生労働省 * (<https://www.mhlw.go.jp/>)

1. [食品中の放射性物質の調査結果(令和元年9～10月調査分)](令和2年6月26日医薬・生活衛生局食品基準審査課)

厚生労働省は、国立医薬品食品衛生研究所に委託して、令和元年9月から10月に、全国15地域で、実際に流通する食品を購入し、食品中の放射性セシウムから受ける年間放射線量を推定しました。

調査の結果、食品中の放射性セシウムから、人が1年間に受ける放射線量は、0.0005～0.0010ミリシーベルト/年と推定され、これは現行基準値の設定根拠である年間上限線量1ミリシーベルト/年の0.1%程度であり、極めて小さいことが確かめられました。 https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000205937_00010.html

2. [食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について](農薬及び動物用医薬品)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000645540.pdf> (令和2年6月30日生食発0630第1号)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000648769.pdf> (令和2年7月14日生食発0714第1号)

3. [食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度について]

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_05148.html

食品衛生法等の一部を改正する法律による改正後の食品衛生法第18条第3項の施行に伴う関係告示の整備について(令和2年7月2日薬生食基発0702第2号)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11130500/000646100.pdf>

* 消費者庁 * (<https://www.caa.go.jp/>)

1. [トランス脂肪酸の情報開示に係る周知・普及について](令和2年6月26日)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/health_promotion/trans_fatty_acid/

【参考】トランス脂肪酸の情報開示に関する指針(平成23年2月21日)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/health_promotion/trans_fatty_acid/pdf/syokuhin505.pdf

2. [消費者意識基本調査](2020年7月2日参事官(調査・物価等担当))

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_research/research_report/survey_002/

3. [令和2年7月3日からの大雨を受けた製造所等及び製造所固有記号の表示の運用について](2020年07月07日消費者庁 食品表示企画課)

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/020514/>

4. [食品表示基準等の一部改正について](令和2年7月16日)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/#display_guideline

・新旧対照条文(内閣府令第52号)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/pdf/food_labeling_cms101_200716_24.pdf

- ・「食品表示基準について」の一部改正について(消食表第 270 号)
(別紙)新旧対照表 https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/pdf/food_labeling_cms101_200716_06.pdf
- ・「食品表示基準 Q & A」の一部改正について(消食表第 273 号)
(別紙)新旧対照表 https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/food_labeling_act/pdf/food_labeling_cms101_200716_17.pdf

5. [魚介類の名称のガイドラインに係る魚類の新標準和名の提唱手順について](令和 2 年 7 月 16 日 食品表示企画課)

https://www.caa.go.jp/policies/policy/food_labeling/quality/case_001.html

独立行政法人農林水産消費安全技術センター (<http://www.famic.go.jp/>)

1. [広報誌 大きな目小さな目 2020 年春号(No. 60)](2020 年 6 月 26 日)

http://www.famic.go.jp/public_relations_magazine/kouhoushi/index.html

一般財団法人 食品産業センター (<https://www.shokusan.or.jp/>)

1. [栄養改善事業推進オンラインセミナーのお知らせ](2020 年 07 月 10 日)

<https://www.shokusan.or.jp/event/3932/>

今月のトピックス

[今後のイベント情報]

皆様いかがお過ごしですか。社会は依然予断を許さない状況ではありますが、JFR Lにおきましても、皆様のお役に立てる場面を模索しつつ、日々奮闘しております。一時中断しておりました JFR L 講演会をはじめとするイベントも、with コロナの新しい生活様式を視野に入れつつ、再開予定です。準備が整い次第ご案内申し上げます。是非ご参加いただきますよう、お願い申し上げます。



★第 9 回技術成果発表会

開催日：2020 年 10 月 13 日

会場：さくらホール(予定)

当日は口頭発表、ポスター発表併せて 20 余の発表を予定しております。

記念講演にはスペシャルゲストをお招きし、初の WEB(ライブ)配信を予定しています。

詳しくは 8 月号の情報宅配、HP でご案内させていただきます。

★JFR L 講演会 at web

昨年まで各事業所にて行ってきました JFR L 講演会を、今年は皆様に参加いただきやすいよう Webinar 形式で開催させていただきます。

以下の内容を予定しております。

【食品衛生法関連】

『食品用器具・容器包装におけるポジティブリスト制度の導入』

『食品衛生法改正を踏まえた異物検査の重要性』

『食品添加物の基礎知識』

【食品表示法関連】

『食物アレルギー表示制度とアレルギー物質を含む食品の検査について』

『一般加工食品の栄養表示について～移行期間を終了して～』



展示会も出展予定をしております。情報宅配にて順次ご案内申し上げます。

内容についての問合せ、配信アドレスの変更・追加配信希望・配信停止は HP のお問合せよりお願いいたします。<https://www.jfrl.or.jp/contact/create>